

simc

Sendai International Music Competition

第6回仙台国際音楽コンクール 関連事業

SIMC@交流シリーズ

第6回仙台国際音楽コンクール開幕まであと1年

[ヴァイオリン部門] 2016年5月21日～6月5日

[ピアノ部門] 2016年6月11日～6月26日

PIANO! PIANO!! PIANO!!!

2015年6月21日(日) 14:00開演(13:30開場)

日立システムズホール仙台 交流ホール(仙台市青年文化センター)

フランス、ドイツで研鑽を積み、オーケストラとの共演、リサイタル、CDリリースなど躍進し続ける3人のSIMC出場者たち。東日本大震災後は毎年Charity Concert for Sendaiを開催するなど、常に仙台、被災地へ想いを寄せています。今回、愛する仙台のために、3人の個性が光る、とっておきのレパートリーを揃えてくれました。期待の若手演奏家によるピアノの魅力をご堪能ください。

Program

J.S. バッハ/主よ、人の望みの喜びよ(連弾:法貴、鈴木)
モーツァルト/ピアノソナタ 第11番 イ長調 K331(トルコ行進曲付)(佐野)
ラヴェル/夜のガスパール(法貴)
ショパン/バラード 第1番 ト短調 op.23(佐野)
ドビュッシー/前奏曲集 第1集より(鈴木)
「デルフィの舞姫」
「音と香りは夕暮れの大きに漂う」
「アナカプリの丘」
「西風の見たもの」
「亜麻色の髪の乙女」
「ミンストレル」
ドビュッシー/喜びの鳥(鈴木)
ラフマニノフ/ロマンス(6手連弾:佐野、法貴、鈴木)

チケット

全席自由 3月13日(金) 発売

一般:2,000円 学生:1,000円

(仙台市市民文化事業団友の会会員価格 一般:1,800円)

※友の会料金、学生券は日立システムズホール仙台、イズミティ21のみ取り扱い。

[プレイガイド]

藤崎、仙台三越、ヤマハミュージックリテイリング仙台店、カワイミュージックショップ仙台、チケットぴあ[Pコード:258-576]、ローソンチケット[Lコード:22353]、イープラス、仙台市市民文化事業団(日立システムズホール仙台1階事務室)、イズミティ21(1階事務室)

仙台を、愛してやまないピアニスト3人が贈る珠玉のピアノ・セレクション



佐野 隆哉 (第2回、第3回出場)
SANO Takaya



鈴木 美紗 (第4回出場)
SUZUKI Misa



法貴 彩子 (第4回出場)
HOKI Sayako

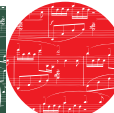
【お問い合わせ】

チケット予約/仙台市市民文化事業団総務課 TEL: 022-727-1875

公演内容など/仙台市市民文化事業団コンクール推進課

TEL: 022-727-1872 E-mail: info@simc.jp URL: http://www.simc.jp/

【主催】仙台国際音楽コンクール組織委員会、仙台市、公益財団法人仙台市市民文化事業団



PIANO! PIANO!! PIANO!!!

【第6回仙台国際音楽コンクール 関連事業 SIMC@交流シリーズ】

Interview

各演奏曲の聴き所を教えてください！

鈴木:バッハの「主よ、人の望みの喜びよ」は、どこかに“望み”=希望を見出したいという思いで選びました。震災から5年目を迎えた今年、あらためて“祈り”の気持ちを込めて演奏させていただきます。

佐野:モーツァルトのピアノ・ソナタ第11番は、第3楽章の有名な“トルコ行進曲”だけでなく、趣の違う第1・第2楽章もとても素敵な音楽です。ピアノの持つ音の魅力が存分に生かされる作品ですので、音色にもご注目ください。

法貴:今年、生誕140周年を迎えるラヴェルの「夜のガスパール」を全曲演奏します！

佐野:ショパンのバラード第1番は、仙台出身のフィギュアスケーター羽生結弦選手が、今シーズンのショートプログラムの音楽として使用し、有名になりました。羽生選手に負けないドラマチックな演奏をご期待ください。

鈴木:ドビュッシーの前奏曲集 第1集は、現実を忘れさせてくれるような、魅力的な情景やストーリーが自由に描かれています。音による色とりどりの世界へ皆様をお連れ出来たら幸いです。

鈴木:ドビュッシーにしては珍しく、とても華やかな曲「喜びの島」。喜びに満ちあふれながら、ラストに向けてどんどん高揚が高まってゆくさまを、これからの仙台の更なる発展を願いながら、幸せいっぱい表現出来たらと思います。

佐野、法貴、鈴木:3人で一つのピアノで弾くラフマニノフの6手の為の連弾「ロマンス」は、滅多に聴く機会のない珍しい作品です。家庭で楽しむために作られた曲ですが、のちに有名な「ピアノ協奏曲第2番」に転用された旋律が登場します！ご存知の方は、きっと嬉しくなってしまうのでは。仙台への感謝の気持ちを込めて、仙台を愛してやまないピアニスト3人による「ロマンス」を是非お聴きください。

SIMC@交流シリーズとは？

コンクール期間中「交流サロン」として賑う日立システムズホール仙台・交流ホールを舞台とし、「対話」と「交流」をコンセプトに、仙台国際音楽コンクール(SIMC)をさらに深く知っていただくためのコンサートやトークイベントを開催します。

第6回仙台国際音楽コンクール 2016年5月～6月開催!

**SENDAI
INTERNATIONAL
MUSIC
COMPETITION**

【開催期間】
ヴァイオリン部門 2016年5月21日～6月5日
ピアノ部門 2016年6月11日～6月26日

【会場】日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
【出場申込締切】2015年11月16日(当日消印有効)

仙台市が2001年に創設した、協奏曲を課題曲の中心に据えたコンクールで、3年ごとに開催されています。世界中から才能ある若い音楽家が集い、その才能を競います。コンクールに出場した演奏家は、その後も世界中で輝かしいキャリアを築いています。

詳細は公式サイトをご覧ください。 <http://www.simc.jp/>

Program Concept

クラシック音楽に馴染みの少ない方々にも楽しんで頂けるよう、有名な作品から聞き応えのある本格的な作品まで、また時代も、バロックからフランス近現代まで幅広く、様々なジャンルの作品を集めました。ファミリーで楽しんでいただけるよう、多彩なプログラムを3人で考えました。

Profile



佐野 隆哉

SANO Takaya
(第2回、第3回出場)

ダイナミックにして繊細。天性のイマジネーションから織りなす「色彩感」と「叙情性」に満ちた「実力派」ピアニスト。都立芸術高校、東京芸術大学を経て、同大学院修士課程を修了。2005年に渡仏後、パリのスコラ・カントルム高等課程を最優秀で修了。日本人男性として初めてパリ国立高等音楽院第三課程研究科からの入学を許可され、2008年に修了。日本音楽コンクール第2位入賞(03年)を始め、ホセ・ロカ国際2位(スペイン・08年)、ロン＝ティボー国際5位及び聴衆賞、特別賞(仏・09年)、ショパン国際ディプロマ(ポーランド・10年)等を受賞。これまでに、フランス国立管弦楽団、パリ国立高等音楽院オーケストラ、東京交響楽団、大阪フィル等と共演。現在、演奏活動の傍ら、東京藝術大学、国立音楽大学、都立総合芸術高校にて後進の指導にもあたっている。



鈴木 美紗

SUZUKI Misa
(第4回出場)

東京生まれ。桐朋学園大学を優秀な成績で卒業後渡独し、ベルリン芸術大学へ入学。ベルリン芸術大学卒業試験にて満場一致の最良成績で修了し、同大学ソリストコースへ進学。2012年修了、国家演奏家資格を取得。日本クラシック音楽コンクール最上位、マリア・カナルス国際音楽コンクールにて第4位ならびにスペイン音楽最優秀演奏賞など、数々の賞を受賞。2011年、12年仙台クラシックフェスティバル「せんくら」出演。2014年4月、日本ショパン協会主催のもとリサイタル開催、好評を博す。2015年、日本演奏連盟(新進演奏家育成プロジェクト「リサイタル・シリーズ」)出演者に選抜、来る7月15日、東京文化会館にてリサイタル開催決定。これまでに、市東信子、柴沼尚子、江戸弘子、玉置善己、加藤伸佳、青柳晋、バスカル・ドゥヴァイヨン、村田理夏子の各氏に師事。

Pianist Misa Suzuki Official Site: www.misasuzuki.com



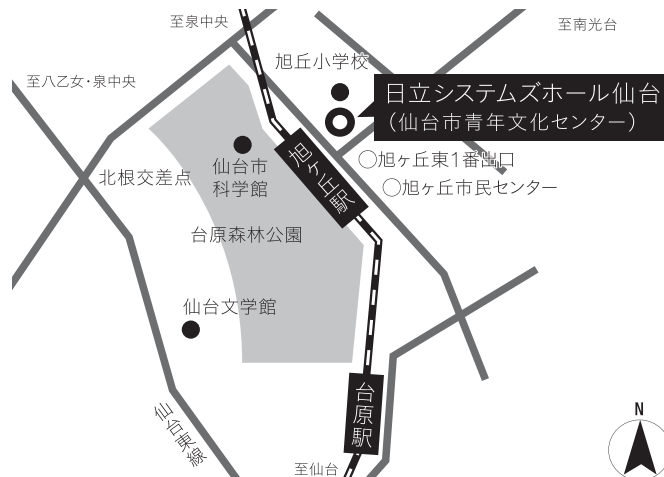
法貴 彩子

HOKI Sayako
(第4回出場)

パリ国立高等音楽院卒業。エピナル国際コンクール(フランス)入賞。フォーラム・ド・ノルマンディーにて現代曲賞受賞。国内外のオーケストラと共演。第20回ABC新人コンサート出演、最優秀音楽賞受賞。第23回宝塚音楽コンクール第1位。兵庫県知事賞受賞。NHK-FMリサイタル・ノヴァ出演。ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第3番」をアンドレイ・ビサレフ氏(第2ピアノ)と共演。14年1月トッパンホール(東京)にて現代曲ばかりを集めたソロリサイタルは大きな話題となった。

会場アクセス

ご来場の際は、できるだけ地下鉄やバス等の公共交通機関をご利用ください。



日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター) 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
アクセス:仙台市営地下鉄「旭ヶ丘駅」下車「東1番」出口より徒歩3分